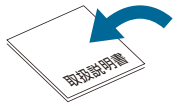
CPAP（シーパップ）装置（システムワンシリーズ）の使い方

※本書は取扱説明書にかわるものではありません。必ず正式な取扱説明書をご覧ください。

あなたがお使いのCPAP装置は以下の機種です

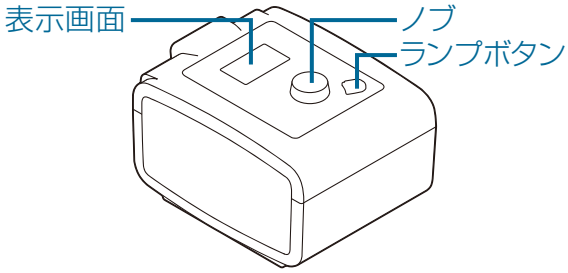
- ☐ レムスター オート REMstar Auto
- ☐ レムスター プロ REMstar Pro
- ☐ バイパップオート BiPAP Auto



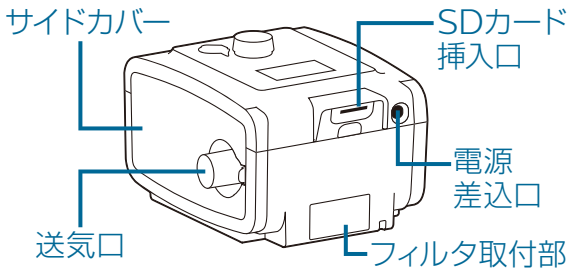
付属の取扱説明書を参照し、内容物がすべて揃っていることを確認してください。

1 CPAP装置 各部の説明

前面パネル



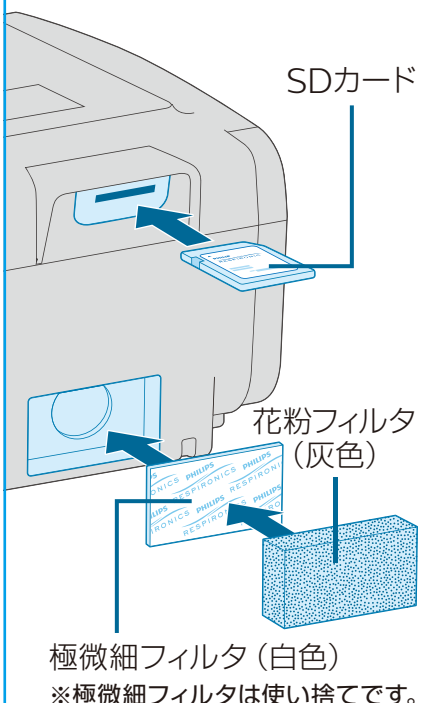
機器背面



2 備品の取り付け

※ご使用の際は、以下の備品がセットされていることを確認してください。

SDカードには、外来診察時に必要なデータが自動的に記録されます。



※極微細フィルタは使い捨てです。

SDカードの挿入

機器使用前に、左図を参考にSDカードを背面の挿入口にセットします。

※カードの向きにご注意ください。
※SDカードは指定の医療機器のみにご使用ください。

正常にセットされると表示画面に が表示されます。

データ転送中　画面に**データ転送中**と表示中はSDカードを抜いたり電源コードを外さないでください。

フィルタの取り付け

左図のように付属のフィルタを機器に取り付けます。極微細フィルタは「**ロゴ印刷面を外側**」に向けてはめ込みます。

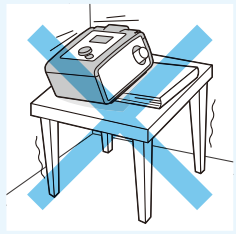
※**花粉症をお持ちの方**には、極微細フィルタの使用をお勧めします（極微細フィルタはオプションです）。

PHILIPS

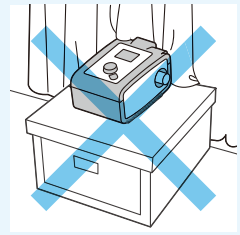
3 機器本体の準備

① 機器の設置

機器をしっかりとした平らな台などに置きます。



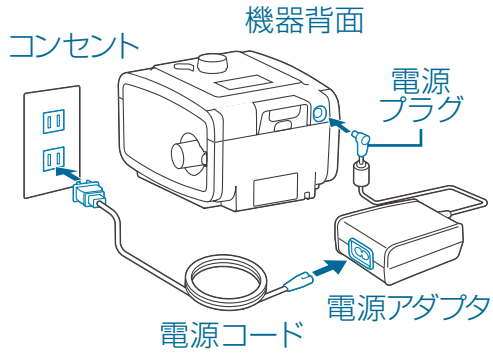
フィルタ部（空気取込み口）がカーテン布などでふさがれていないか確認してください。



② 機器と電源コード・電源アダプタの接続

電源アダプタのプラグを、機器背面の電源差込口に差し込みます。電源コードと電源アダプタを図のように接続し、電源コードをコンセントに差し込みます。

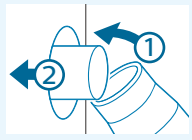
※ 電源コード及び電源アダプタのコードは、過度の曲げや、ねじり、束ねなどによって断線し、発熱・発火におよぶ可能性があります。ご使用前には必ず破損がないことをご確認ください。

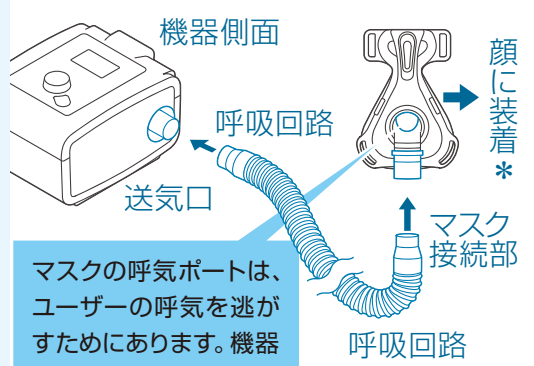


③ 機器と呼吸回路の接続

呼吸回路の一方を機器側面の送気口に接続し、もう一方をマスクに接続します。マスクを鼻にあてヘッドギアで固定します。この時、目の方への空気漏れとヘッドギアのしめすぎに注意してください。

回路を接続する時は…
①接続部を覆うようにあて
②奥まで差し込むと楽に接続することができます。





マスクの呼気ポートは、ユーザーの呼気を逃がすためにあります。機器の動作中は常に空気が漏れていることを確認してご使用ください。

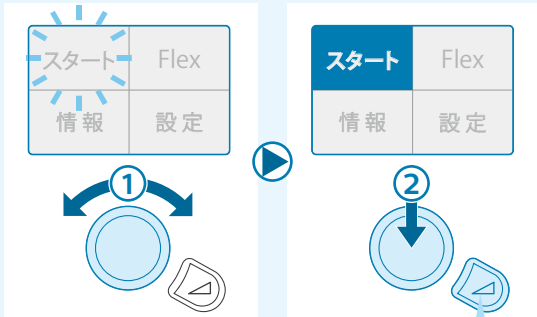
※呼吸回路は両端とも同じ形状です。

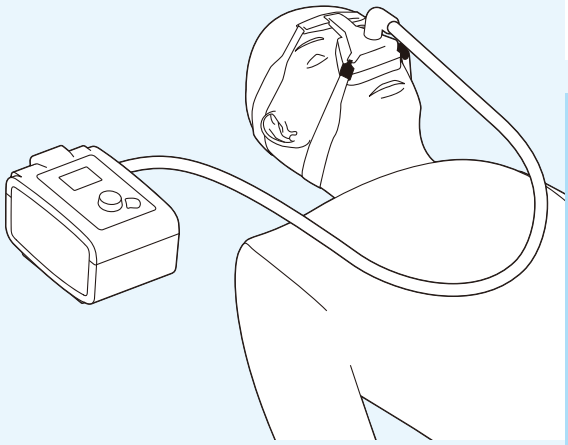
＊種類により、装着方法の異なるマスクがあります。詳しくは「マスク及びCPAP付属品の使い方」を参照してください。

4 治療の開始と終了

送気の開始

機器上部のノブを回し、表示画面
スタート を選択します。
ノブを押すと送気が始まります。





※空気が送られてきたら口を閉じ、鼻だけで呼吸してください。

ランプボタン

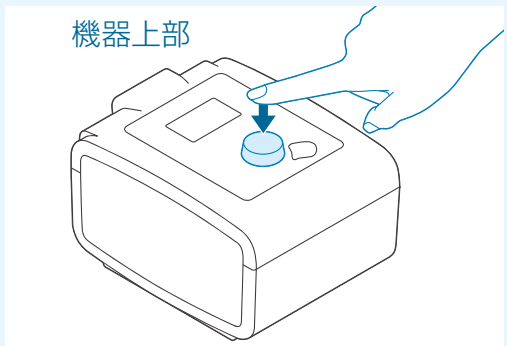
使用中に息が吐きづらく感じた時に押します。ランプボタン ⊿ を押すと、送気が最小ランプ圧まで下がり、徐々に治療圧へ上昇します。

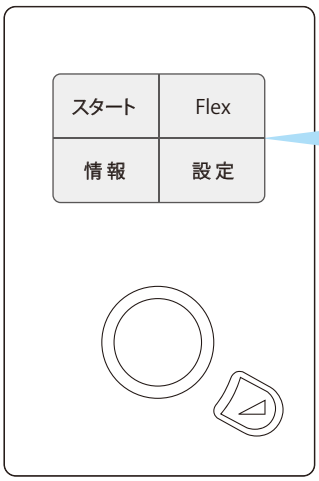
※ ランプ圧は、医師の処方にて設定されています。

送気の停止

動作中にノブを押すと、
送気が止まります。

※機器を使用しない間（日中など）は、電源コードはコンセントから抜いておくことをおすすめします。また、機器・呼吸回路・マスクなどは直射日光を避け、ホコリのかからない場所で保管してください。





表示画面のマーク

スタート	送気を開始する時に選択します。
Flex	Flex機能の設定を確認、変更できます。※
情報	機器の使用時間などの情報を確認することができます。
設定	ノブを操作して項目を選択し、一部の設定を変更します。
	マスクから過度な空気漏れを検出した時に点滅します。
	SDカードが正しく機器に挿入されている時に表示されます。

※医療従事者のみ

※加温加湿器をご使用の方のみ、この項目をご覧ください。

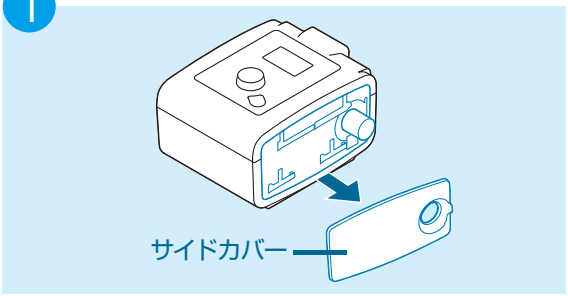
ヒーテッドチューブ式の加温加湿器HTをご使用の方は、
別紙の「**ヒーテッドチューブ式加温加湿器HTの使い方**」をご覧ください。

5 加温加湿器の組み立て・使用手順

※加温加湿器をご使用いただくには医師の処方が必要となります。

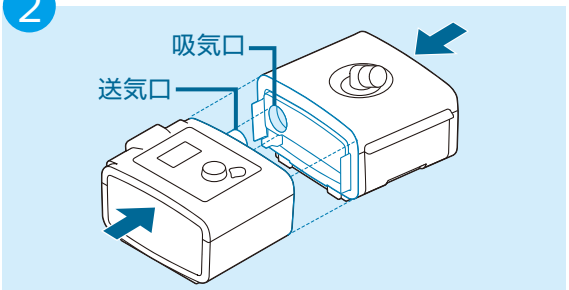
付属の取扱説明書を参照し、付属品がすべてそろっていることを確認してください。

1



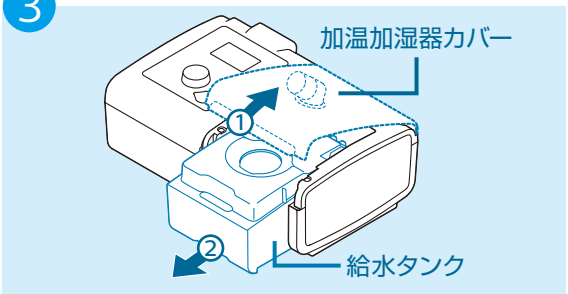
CPAP装置の側面にあるサイドカバーを外します。

2



CPAP装置の送気口と加温加湿器の吸気口を重ねて並べ、カチッと音がするまで押し合わせます。

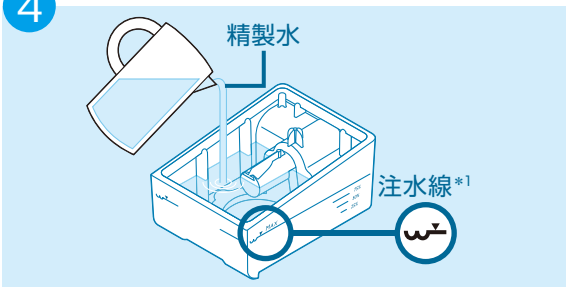
3



加温加湿器のカバーを図のように上げ、給水タンクを引き出します。

次ページ「給水タンクのフタを開ける際は…」を参照して給水タンクのフタを開けます。

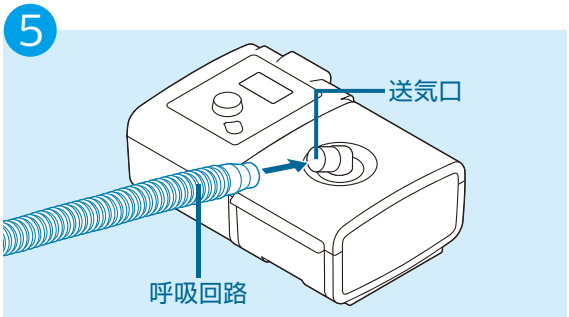
4



精製水（蒸留水）を注水し加温加湿器にセットします。

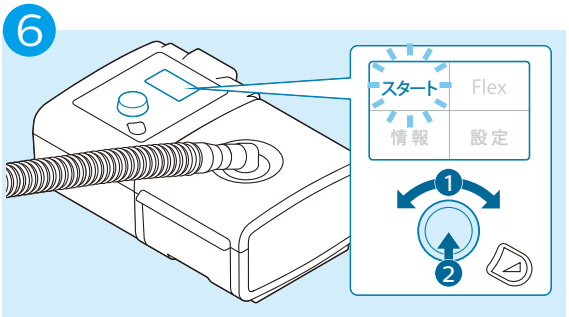
*1 注水する際は、注水線のマーク を超えないようにご注意ください。

5



呼吸回路を加温加湿器の上部にある送気口に接続します。

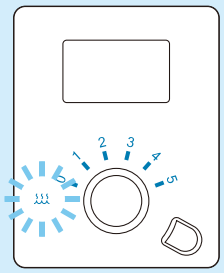
6



CPAP装置のノブを回し、表示画面の スタート を選択し、ノブを押すと送気が始まります。

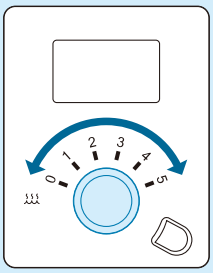
加温加湿器は機器本体に連動して、自動でON/OFFになります。

7



機器の送気を開始するとノブの周りに設定値と加温加湿器マーク ♨ が点灯します。

8



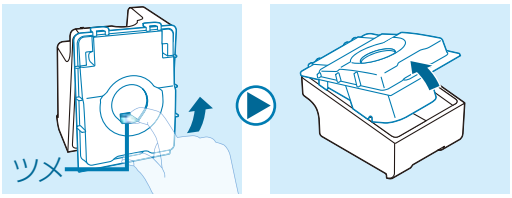
機器のノブを回して医師から処方された処方値に数字をあわせます。

ご注意ください

- 加温加湿器の給水タンクには、必ず精製水（蒸留水）を使用してください。
- 使用する前に必ず給水タンクの水量を確認してください。
- 給水タンクは毎日洗浄し、使用してください。

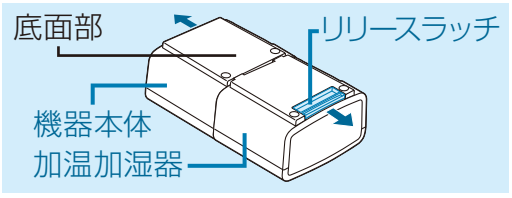
給水タンクのフタを開ける際は…

上フタの穴にあるツメを押さえながら引き上げて、フタを取り外します。



加温加湿器を本体から取り外す際は…

給水タンクを取り外します。加温加湿器の底面にあるリリースラッチを、外側に引きながら取り外します。



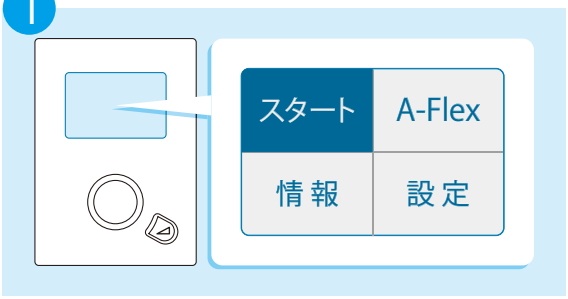
※異なるサイズの呼吸回路を使用する際は、この項目をご覧ください。

ヒーテッドチューブをご使用の場合は、
自動で呼吸回路が設定されるため、変更の必要はございません。

6 呼吸回路設定の変更方法

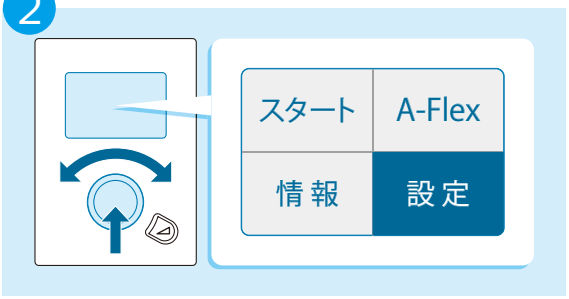
※異なるサイズの呼吸回路を使用する際は医師の処方が必要となります。

1



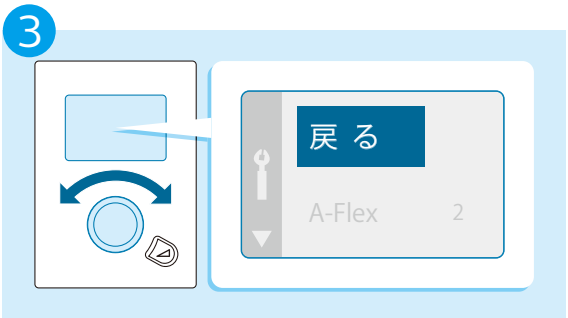
表示画面に上図のオプションが4つ表示され、ユーザーモード画面が起動していることをご確認ください。

2



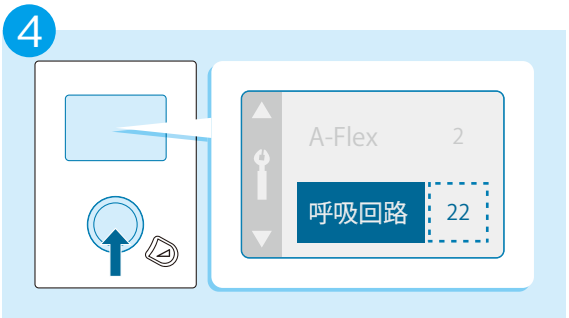
ノブを回し 設 定 を選択した状態でノブを押して決定します。

3



設定の画面に切り替わります。
ノブを回し「呼吸回路タイプ」を選択します。

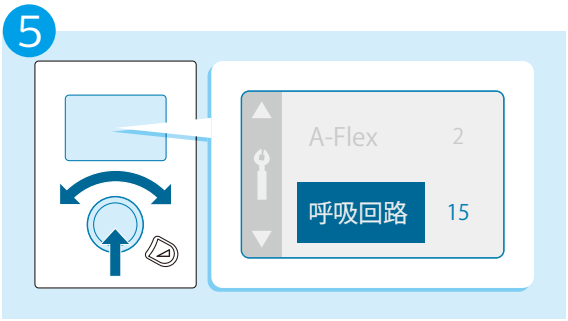
4



ノブを押すと設定枠が点滅します。

※数字の横に鍵アイコン が表示されている場合は設定変更できません。主治医または営業所までお問合せください。

5



ノブを回し、使用する呼吸回路の口径サイズ（15もしくは22）を選択します。ノブを押して決定します。

6

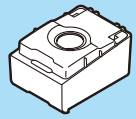
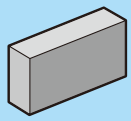
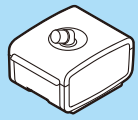
ノブを回して 戻 る を選択します。
ノブを押すとユーザーモード画面に戻ります。

※加温加湿器は機器本体に連動し、自動でON/OFFになります。

- 操作中に数十秒間放置すると自動でユーザーモード画面に戻ります。
  設定を継続する場合は手順❶に戻り再度設定ください。
- 機器を使用する際は、呼吸回路タイプと機器の設定に相違がないことをご確認ください。

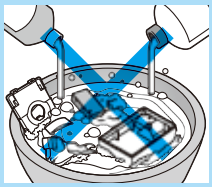
7 機器と付属品のお手入れ

機器および付属品は、それぞれお手入れの方法やその周期が異なります。
安全・快適にお使いいただくために、以下のお手入れを行ってください。

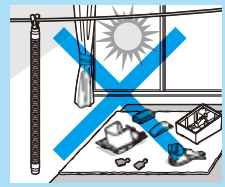
頻度	種類	お手入れ方法
毎　日	マスク	各部品を分解し、中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗浄します。 よくすすぎ、風通しの良い所で陰干しします。
	呼吸回路	中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗浄します。 その後よくすすぎ、風通しの良い所で陰干しします。ヒーテッドチューブは別紙を参照してください。
	 給水タンク	上下パーツに分解し中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗浄します。必ずきれいな水ですすいでから、乾いた布などで水気を拭き取り陰干しします。※1
1週間	ヘッドギア	マスクから外して中性洗剤を薄めたぬるま湯でもみ洗いします。洗たく機を使用する際は洗たく用ネットに入れます。
2週間	 花粉フィルタ	フィルタは必ず乾いている物をお使いください。 使用後のフィルタは、中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗浄し、陰干ししてください。
	 加温加湿器本体	湿った布で表面を拭きます。 送気口の内側は、市販のビン用ブラシや布でクリーニングします。※1
1ヶ月	極微細フィルタ	一ヶ月で極微細フィルタを交換します。 使い捨てですので新しい物をお使いください。 極微細フィルタはオプションです。

※1：CPAP装置の使用後、電源コードを抜き機器と給水タンクの水が常温まで冷めてから行います（15分程度）。

⚠ お手入れの際は次の点にご注意ください



マスクや呼吸回路をベンジン、アルコール、塩素系洗剤などで洗わないでください。



マスクや呼吸回路は、日当りの良い場所で干さないでください。

機器についてのお問合せ

備品の購入や機器のトラブルなど、お問合せは以下にご連絡ください。お問合せの際は、お名前・ご利用の機器名・かかりつけの医療機関・取扱業者名などを必ずお伝えください。

かかりつけ医療機関	機器取扱業者

フィリップス・レスピロニクス合同会社

CPAPお客様コールセンター

0120-48-4159（よるはよいこきゅう）

電話受付時間 平日9:00~17:00 土10:00~17:00 ※日・祝日休業

販売名：レムスターAuto PRIシステム	医療機器承認番号：22200BZX00874000	高度管理医療機器 / 特定保守管理医療機器
販売名：レムスター PRIシステム	医療機器承認番号：22200BZX00875000	高度管理医療機器 / 特定保守管理医療機器
販売名：BiPAP Auto System Oneシリーズ	医療機器承認番号：22400BZX00003000	高度管理医療機器 / 特定保守管理医療機器
販売名：BiPAP Auto System One 60 シリーズ	医療機器承認番号：22500BZX00448000	高度管理医療機器 / 特定保守管理医療機器
販売名：REMstar Auto System One 60 シリーズ	医療機器承認番号：22500BZX00268000	高度管理医療機器 / 特定保守管理医療機器
販売名：REMstar Pro System One 60 シリーズ	医療機器承認番号：22500BZX00477000	高度管理医療機器 / 特定保守管理医療機器

製造販売業者
フィリップス・レスピロニクス合同会社
〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町一丁目825番地1
本社〒108-8507東京都港区港南二丁目13番37号フィリップスビル
マーケティング部　03-3740-3245
www.philips.co.jp/respironics/

© 2013 Philips Respironics GK

改良などの理由により予告なしに意匠、仕様の一部を変更することがあります。あらかじめご了承ください。詳しくは担当営業、もしくは「マーケティング部」までお問合せください。記載されている製品名などの固有名詞は、Philips、Respironics、またはその他の会社の商標または登録商標です。

PN 1113063 141015 R4-W